

自宅での保管状況を確認し適切な指導実施

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は持参薬確認時に患者より聴取した情報を元にしたプレアボイド報告を紹介いたします。

患者背景

Aさん

・頸椎後縦靭帯骨化症に対し手術目的で入院



薬剤師が持参薬確認に訪室

Aさん！このノボラピッド®30ミックス注は現在使ってないものですよね？



患者 Aさん



そうそう。それはもう血糖が安定してきたけん、半年くらい前に中止になった分よ。また必要になるかもしれないから、置いといたんよ。今回手術の前にインスリンを調節するみたいやし、使うかもしれないあと思って持ってきたんよ。

そうでしたか。開けていない新品のインスリンは自宅ではどこに保管していましたか？



袋に入れて部屋においてたんよ。



患者へ説明

Aさん、せっかく自宅で保管してもらっていたのですが、インスリンは箱を開けて使用中のもの以外は冷蔵庫で保存が必要です。また、高温下におくとインスリンが変性してしまう可能性もあります。今回は残念ですが、持ってこられている分は念のため廃棄して、必要なものを先生に出してもらいましょう。



そうやったね。使わないし、ついそのまま部屋に置いてしまっていたわ。



患者の持参薬の自宅での保管状況を確認し、安全かつ有効に使用できる薬剤であるか判断を行い、適切な薬物治療へ貢献できた。